

## 令和 5 年度 学校経営環境分析書

<p><b>O</b> (支援的要因)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自然が豊かで環境に恵まれている。</li> <li>② 保護者の学校活動への関心が高く協力的である。</li> <li>③ 校区内に保育所が1つ、中学校が1校あり、保小中連携が図りやすい。</li> <li>④ タブレット等が整備され、AI型ドリルが導入されるなど、児童・教職員共に授業等で活用できる。</li> <li>⑤ 地域の方が児童に声をかけるなど、児童とのつながりを大切にしてくれている。災害や歴史など語ってくれる方もいる。</li> <li>⑥ 銀行、病院、郵便局など概ね生活に重要な場所があり、生活しやすい。</li> <li>⑦ バス停が近く、多方面に移動できる。</li> </ol>	<p><b>S</b> (強み)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 少人数であり、目が行き届き、個に応じたきめ細やかな指導ができる。</li> <li>② 素直で明るい児童が多い。</li> <li>③ 仲間内で「話すこと」に抵抗がなく、言いたいことが言いやすい。</li> <li>④ 縦割りの活動により学年を超えての交流が盛んで、人間関係が良好である。</li> <li>⑤ 高学年が低学年のよい範を示している。</li> <li>⑥ 教職員が協力的で、組織的に動くことができる。</li> <li>⑦ 図書館司書の配置により図書館の整備が進んでいる。</li> <li>⑧ 小中連携が良好で、教育推進に前向きである。</li> </ol>	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個に応じた指導(指導の個別化と学習の個性化)を充実させる。</li> <li>○小中一貫教育研究の推進(合同の行事、授業等)</li> <li>○開かれた学校づくりの推進。</li> <li>○地域人材・資源を活用した学習活動の実施。(防災教育等)</li> <li>○オンラインの活用</li> <li>○校内での異年齢集団での活動の推進</li> </ul>
<p><b>T</b> (阻害的要因)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 少子化や校区の広さから、児童の放課後・休日のかかわりが少ない。</li> <li>② 家庭間で教育活動に対する関心の差が見られる。</li> <li>③ コロナ禍で3年間、校内外で行う活動に制限があった。</li> <li>④ 虫歯治療への意識が低い。</li> <li>⑤ 校舎等が古く、窓の開け閉め・ドアの開閉が難しい。特別教室のスペースが限られており、使いにくい。</li> <li>⑥ 蔵書が規定よりも少なく、図書室の活用が進んでいない。</li> <li>⑦ ICT教育の推進等、限られた教員数の中で行うため、教員の負担が大きい。</li> <li>⑧ 近隣に大型店や公園・公共施設がない。</li> <li>⑨ 通学バスの本数が少ない。</li> <li>⑩ 土砂災害や、津波による被害の危険性が高い。</li> </ol>	<p><b>W</b> (弱み)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業を落ち着いて受けられる児童が多いが、学力の定着が不十分で個人差が大きい。</li> <li>② 人間関係が固定化し、他者や自己に対する固定観念があり、それが払拭できにくい。</li> <li>③ 多様な意見や考えに触れる機会が少ない。</li> <li>④ 指導がしやすいため、教師の指示を待って動かそうとする。</li> <li>⑤ 地域貢献や地域をどうしたいかという思いが薄い。</li> <li>⑥ 少人数の強みが生かされず、一斉指導に偏りがちで、個に応じた指導や協動的な学びが十分ではない。</li> <li>⑦ 教職員数が少なく単学級のため、多様な実践に触れる機会が少ない。</li> <li>⑧ コロナ禍で研修機会が少なく、新しい動きを繰り出す創造性などを発揮する教職員が少ない。</li> <li>⑨ 教員の分掌等に係る負担が大きい。</li> </ol>	<p>内部環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内外での交流活動等、共感的人間関係を育成する取組を行う。</li> <li>○職員や児童相互が肯定的評価・一人一人のよさを取り上げる取組を行う。</li> <li>○縦割り活動や保小中合同の行事を取り入れ、人間関係を広げると共に、自己有用感を高める。</li> <li>○対人関係と感情コントロールのスキルを育てるSELの活用。</li> <li>○学校図書館のさらなる充実と新聞教育の推進。</li> <li>○外部の活動への積極的参加</li> <li>○低・高・総務等で組織した協力しやすい教職員集団づくり。</li> </ul> <p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p>

### 2 重点課題

- ① 個別最適な学びと協動的な学びの充実 (学力の向上)
  - 「個別最適な学び(指導の個別化と学習の個性化)」と「協動的な学び」の一体化の充実
  - 学びを支える言葉の力の育成
  - 特別支援や児童理解の視点を取り入れた一人一人に寄り添う教育活動の推進
  - ICTの効果的な活用 ●児童の学習の課題に応じた「学習フリータイム」の充実
  - 「読書センター」と「情報センター」としての役割をもたせた学校図書館の整備・利活用
- ② 地域の構成員の一人としての参画意識及び自己有用感の育成
  - 異年齢の子どもや地域社会など、世代を超えた交流を通じた他者とのかかわり合う場の設定
  - 児童生徒が主体となり、企画・運営する行事・学級活動の充実
  - 職員や児童相互が肯定的評価(ほめる・感謝する)する取組の継続 ●SELの活用
- ③ 安心・安全で信頼される学校
  - 「呉市防災週間」における取組の充実 ●家庭・地域を巻き込んだ防災教育 ●外部人材の活用
  - 働き方改革の推進 ●教職員による不祥事の根絶